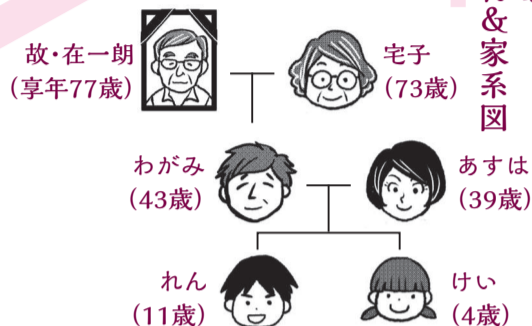


かしわ家 在宅医療ものがたり

市では、在宅医療・介護を含む、地域包括ケアシステムを早くからつくりあげ、全国から注目されています。このコーナーでは、市内に暮らす「かしわ家」を例に、誰にでも起こりうる問題と役立つ市の取り組みを、全9回にわたって楽しく分かりやすく紹介します。

図 地域医療推進課 ☎7197-1510

登場人物 & 家系図



第6話～在宅認知症編～

あれ?!おばあちゃん、
どうしたの?

かしわ家の家族全員で在一朗さんを看取(みと)ってから約1カ月。徐々に普通の生活に戻ってきましたが、何だか宅子さんの様子がおかしいような...



こんな症状に気付いたら

- ごみを出せなくなった
- 冷暖房機器を使えなくなった
- 趣味などへの興味がなくなった
- 薬の管理ができなくなった
- 料理の手順が分からなくなった

ご家族にこのような変化が見られたら、認知症かも知れません。困った時は、お近くの地域包括支援センターへご相談下さい。



▲各地域包括支援センターの問い合わせ先はこちら



認知症地域推進員とは

認知症のかたが住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために、認知症の医療や介護における専門的な知識を生かし、ご本人やそのご家族を支援する相談業務を行います。柏市では市内11カ所全ての地域包括支援センターに配置されています。



かしわ認知症対応ガイドブック

認知症で困った時に相談できる医療機関や行政窓口、さらにケアラズカフェのような市内の交流の場、認知症家族会の情報などを掲載しています。また、徘徊(はいかい)や暴言、排泄(せつ)問題などの困り事への対応について、市内で活躍する専門職が具体的に解説しているところも特徴です。病気に関するだけでなく、認知症に関する消費者被害や自動車運転、財産管理についての対応策や相談先も掲載しています。



▲市のホームページはこちら



柏の在宅医療を支える「地域包括支援センター」のかたにインタビュー

地域包括支援センターは高齢者への総合的な支援窓口です。保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャーといった専門知識を持つ職員が、地域でいきいきと暮らしていただけるようサポートしています。



柏北部地域包括支援センターセンター長・山本敏子さん

二三年前、認知症関連の啓発や周知により、認知症への理解がされるようになりました。認知症の当事者とその介護者のかたは、それぞれ百人百様の悩みをお持ちだと思います。一人で悩み抱え込まないよう、私たちはさまざまな機関と皆さまをつなぐお手伝いをさせていただきます。

各地域包括支援センターで、65歳以上のかたならどなたでも、どんなご相談内容でも無料で受けることができます。「こんな事を聞いて良いのかな」などと悩まずに、お気軽にご相談ください。各専門職が親身になって対応します。



柏南部第2地域包括支援センターセンター長・橋本佳子さん



次回は…「おばあちゃんの介護…。私が仕事を辞めるべき?」